

パスファインダー / パスのアウトライン

2つ以上のオブジェクトに対して、合体させたり、くりぬいたりできるパネル「パスファインダー」を紹介합니다。色々な機能があるのでぜひ使ってみましょう。また、線を塗りに変える「パスのアウトライン」も併せて紹介します。

●【パスファインダー】を使う

パネルが出ていない場合は、まず「ウィンドウ」メニューから「パスファインダー」を選びましょう。

2つ以上のオブジェクトを重ねて、両方選択した状態でパスファインダーを使ってみましょう。

パスファインダー適応後はグループ選択ツールで選択すると、バラバラのパーツを選択しやすいです。

※グループ選択ツールはダイレクト選択ツールを長押しすると選べます。

刈り込みと合流は色が異なるオブジェクト同士だと効果はほぼ同じ。でも色が同じ場合、合流は**合体**します。

この4機能は**optionキー**を押しながらクリックすると、**仮決定状態**で適応できます。仮状態ではグループ選択ツールで選択し位置の調整ができます。しかし、再び、別のオブジェクトとはパスファインダーを使えません。その場合は拡張ボタンを押して、**確定後**使用できます。

●【パスのアウトライン】を使う 【線のデータを選択】→【メニューバーのオブジェクト】→【パス】→【パスのアウトライン】

通常、線に色を入れて、塗りはナシのデータは、線のデータですが、パスのアウトラインをすることで、塗りの状態に変えることができます。

線の状態では、線幅を変えてしまうと太くなったり細くなったり、データの見え方が変わってしまいます。それを防ぐために、**ロゴデータ**などは**パスのアウトライン**をしておくことが多いです。

パスのアウトラインをすると、面になるので、ダイレクト選択ツールでパスを掴んでこのように変形させることもできるよ。